

健康デザイン研究所

Research Center for Health Design

研究所の概要

現代社会では、少子高齢化が進行し、人口減少も問題となっており、それに伴い高齢者の介護や認知症対策が急務となっている。このような背景から、本研究所は、国内外の類似の取り組みや研究開発の動向を踏まえ、介護・認知症予防、健康づくりや生きがいをづくりに重点的に取り組み、心身の健康を図るプロジェクトを推進することを目指す。少子高齢化が進む中で、高齢者の健康寿命を延ばし、健康で豊かな生活を送ることが求められている。本研究所は、国内外の類似研究や取り組みを参考にしつつ、独自のアプローチでこれらの課題に取り組むことで、社会的・学術的な意義を追求する。



所長

田部井 賢一

TABEI Ken-ichi

キーワード

介護予防、認知症予防、地域住民、
生きがいをづくり、IoT、AI

令和5年度の実施項目

- 研究分野・プロジェクトの選定と具体的な研究テーマの設定
- 研究プロジェクトごとの進行計画および目標達成のための評価指標の策定
- 国内外の研究機関や企業との連携・協力体制の構築
- 研究プロジェクトの進捗状況の定期的なモニタリングおよび評価の実施
- 初年度における研究成果の取りまとめと公表
- 初年度では、健康デザイン研究所の基盤を整備し、各研究プロジェクトを立ち上げることを重点的に進めることで、研究所の活動がスムーズに進行するように努める。また、研究成果の社会還元やアウトリーチ活動にも取り組むことで、研究所の活動が広く社会に貢献し始めることを目指す。